



かけはし 2024

学校教育目標

- ・進んで学ぶ子
- ・心豊かな子
- ・たくましい子

学校創立記念日を祝う全校集会

♪明治の41年に生まれ出でたる我が校は♪

校歌の歌詞にもあるように、本校は明治41年9月5日、「花桐尋常小学校」としてスタートし、今年で創立116周年を迎えました。

学校沿革史には、明治22年下里添に新里小学校の分教場を設置し下里添の児童のみが通ったこと、その後、福里小学校の分教場・長間分教場・砂川分教場を経て、「花桐尋常小学校」が創立されたことが記されています。

創立当時240名だった児童数は、昭和34年の813名をピークに、年々減少し、今年9月1日現在で68名となっています。

長い歴史の中で、九州交通安全協会会長賞、沖縄県緑化コンクール入選等、多くの学校賞を受賞しています。また、スポーツ面や文化面において、多くの児童が活躍し、輝かしい歴史を刻んでいます。

卒業生は4578名を数え、数多くの有能な人材が育ち、地域・郷土の発展に貢献されるなど、県内外の各界でご活躍なされています。

9月5日の創立記念集会では、「校歌斉唱」、校長からの「砂川小学校〇×クイズ」、児童会役員が企画した「縦割り班対抗つなひき大会」が行われました。各班とも優勝目指して、顔を真っ赤にしながら思い切り綱を引いていました。リーグ戦の結果、黄色チームが優勝しました。おめでとうございます。集会後、各学級ではお祝いとして「宮古島市立砂川小学校創立116周年 2024.9.5」の文字と「校章」入りの創立記念鉛筆が全児童に配られ、鉛筆を手にした子ども達は嬉しそうに微笑んでいました。

玄関掲示板には、創立記念日を祝う掲示物を6年生が作成し、各学年の児童が砂川小の良いところや集会の感想などをか書いて貼り付けていました。



【つな引き大会 優勝 黄チーム】



【創立116周年記念鉛筆】

★2年 Oさんの感想

・ぼくは、9月5日は、砂川小のお誕生日だと初めて知りました。クイズで砂川小学校のことが少し分かりました。縦割り班対抗のつなひきは、とても楽しかったです。優勝したので嬉しかったです。

親睦を深めた交流会

宮古島市城辺地区は新潟県板倉区と児童交流を行っています。今から約120年前、板倉区稲増出身の中村十作氏が宮古島の人頭税廃止に尽力されたことを縁として、平成6年度から中学生による夏・冬相互の交流が行われるようになりました。(平成12年度からは小学生による交流として実施)

7月31日、本校のランチルームにおいて、板倉区の交流団(児童4名・引率2名)と本校の3年以上の児童・職員との交流会が行われました。交流会を通して、板倉区や宮古島の文化や環境などをお互いに伝え合い、理解を深めるとともに、自分たちの地域について再発見することをねらいに、「板倉区の学校紹介」「宮古島に関するクイズ」「砂川小学校の紹介」などを行ったあと、全員が輪になって人頭税廃止と関係のある「張水のクイチャー」を踊りました。交流会の最後は、児童の手作りプレゼントを交流団に贈り、玄関前で見送りました。

